

仮想企業で起業体験

小中高生らアイデア商品

京 大



展示ブースで商品を販売する児童ら（京都市左京区）

大学生や小中高生が仮想企業で商品企画や販売を体験する第9回「バーチャル・カンパニートレードフェア」が23日、京都市左京区の京都大時計台記念館であり、学生らがアイデア商品売り込

した。授業で経営を学ぶ同志社女子大や平安女学院中、養正小など全国の40チームが地元食材の菓子や環境に配慮した文具など多彩な商品

を出展した。

八幡市の京都八幡高の生徒は、エジソンが電球に使った特産のマダケでできたスプーンや歯ブラシを提案した。2年の藤原友輝君（17）は「商品化することで減少が続くマダケを将来も残したい」と話していた。

（猪口健司）

み、起業家精神を養った。

NPO法人（特定非営利活動法人）アントレプレナーシップ開発センター（中京区）などの実行委員会が将来の地域活性化を担う人材を育てるため、企画

京都新聞

2009.11.24